

単元名 【旧】1まいの板から(工作)

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) 生活の中で使えるように、目的や用途などからつくりたいものを思い付き、つくることができる。
- (2) つくりたいものに合うように、木取りや木の切り方、接合の仕方など、つくり方を工夫することができる。自分や友達の作品のよいところについて話し合い、よさや美しさを感じ取ることができる。
- (3) 生活の中で使うものを、板材を使って計画的につくることに取り組もうとする。

標準的な展開例

06080207_001

【準備等】 板材、工作用紙、電動糸のこぎり、のこぎり、化学接着剤、木工用接着剤、金づち、釘、紙やすり、ちょうつがい、共同絵の具、作品カード、水性ニス、刷毛、乾燥用ドライヤー、定規、水彩用具一式

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習課題をつかみ、構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の作品を見て、板からどんなものをつくってみたいか発表する。 <p>★ 1 まいの板を使って、生活を豊かにするものをつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> つくる手順を知る。 つくりたいもののスケッチをして、構想を練る。 スケッチを基に下絵をかく。 <p>2 木に木取り図をかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 木取りをする。 <ul style="list-style-type: none"> 下絵に合わせたの線引き 木取り <p>3, 4 木材を切断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> のこぎりの使い方について知る。 <ul style="list-style-type: none"> 切るときの姿勢 たてびき、横びき 切る角度 安全指導 電動糸のこぎりの使い方について知る。 木取り図にそって木材を切断する。 <p>5~7 接合、組み立てをし、着色した後ニスで仕上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工夫しながら組み立てる。 <ul style="list-style-type: none"> 接合 磨き 着色 ニス 作品を完成させる。(活用) <p>8 友達の作品を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工夫したことや作品の使い方を作品カードに記入する。 友達の作品のよさをみんなで話し合う。(言語活動) 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 5・6下 P.38, 39 教科書の作品を参考に、何に使うものをつくりたいか発表させ、つくりたいもののイメージをふくらませる。 教科書の作品の解説をしたり、材料の板材などを見せたり触ったりさせて、形や構造、機能、つくり方をイメージさせる。 構想から完成までつくる手順を説明し、活動の見通しをもたせる。 使いやすさとデザイン性に注目させる。 板の厚みを考えて、下絵をかかせる。 【評】 スケッチを通して、板材の特徴を生かして、生活の中で使うものを構想する「発想や構想の能力」を評価する。 むだのない木取りをさせる。教科書 P.39 を参考にさせる。 段ボール紙で組み立て方などを試してみてもよい。 のこぎりの使い方は第4学年で学習しているが、示範して確認させる。 のこぎりの真上に顔がくる姿勢で切る。 木目の向きによって横びきとたてびきを使い分ける。 切り始めは低い角度でゆっくり引く。 切り落とすときは刃を立ててゆっくり引き、板の重みで割れないように手で軽く支える。 刃を付け替えている間や使い終わったら必ずコンセントを抜く。 【評】 活動を通して、のこぎりや電動糸のこぎりを正しく使い、正確に切る「表現の技能」を評価する。 釘を打つ部分に、きりで穴を少し空けておくと釘がまっすぐに打てる。 ちょうつがいの使い方について P.56 を参考にさせる。 塗装の仕方について P.55 を参考にさせる。 乾燥にドライヤーを使用すると作業効率上がる。 【評】 作品を通して、木取りや木の切り方、接合の仕方などの「表現の技能」を評価する。 友達の作品のよさや工夫したところを見付けさせる。

【 備 考 】

この単元では、板材の木取りや接合の仕方を工夫して、生活の中で長く使えるものをつくる活動をする。生活に役立つ工夫としては、使用目的に合わせた大きさやつくり、機能性などに着目させるとよい。言語活動では、自分や友達の作品のよいところについて話し合ったり、実際に使った感想などを発表したりして、よさや美しさを感じ取らせることが大切である。